



Daito



Okidougen

しまね 高2留学

住んで、触れて、学ぶ。
地域高2留学



未来につながる
17歳のチャレンジ。

高校2年次の1年間を
島根の高校で学ぶ国内留学制度です。

高校1年生
在籍高校



高校2年生
しまねの
高校



高校3年生
在籍高校

島根県



しまね 高2 留学の魅力

自分のチャレンジを形にできる。

小さいまちだからこそ、出会える大人たちがたくさんいる。

そして、都会のように何もかもが用意された環境ではないからこそ、創造力や協働性が鍛えられる。

島根県での1年間は、きっとあなたの探究心に火をつける。



地域での探究活動とチャレンジを支える安心安全の土壌

地域で学ぶ探究学習

人口減少や少子高齢化など世界的課題の先進地である島根県では、多様な特徴や課題を持つフィールドを活用した課題解決型学習を推進しています。生徒自身が答えのない課題に自分事として向き合い、解決に向かって試行錯誤することで、世の中の流れを広い視野で見つめ、柔軟に対応できる力が育ちます。授業内での取り組みに加えて、「地域系部活動」を提唱し、推進している高校もあります。

島根の留学先校が「第二のふるさと」に

島根県には、海外からも認められる自然や文化資源が多くあります。また、出雲大社に代表される多くの由緒ある神社や、見る人を魅了する神楽などが生活のなかに息づいています。そうした自然や文化を受け継いでいる地域の人たちは、地元の高校に誇りを持っています。そしてその高校に通う若い人たちのチャレンジを優しく見守ってくれています。四季を感じ、旬なものを味わい、豊かな自然と文化、人情を存分に体験し、いつでも帰れる「第二のふるさと」を島根につくってください。

多くの“しまね留学生”が在籍

島根県では10年以上前から“しまね留学(高校3年間の島根県への留学)”に取り組んでおり、様々な都道府県から来た生徒が学んでいます。島根県全体で多くの受け入れ実績があり、体制が整っているため、安心して留学することができます。安心安全な環境で、島根の仲間と一緒に学びませんか？

学校と地域のつなぎ役“コーディネーター”

島根の多くの高校には教員とは別に「コーディネーター」が配置されています。コーディネーターは、高校と地域を結び、生徒と社会をつなげる役割を担っています。2023年度時点では、60人を超えるコーディネーターが島根県内の高校教育に従事しており、「総合的な探究の時間」やキャリア教育を現場で支えています。教員やコーディネーター、多くの仲間と共に、教室の中だけでは収まらない、地域に開かれた未来型の学びをつくっていきましょう。

留学までの流れ

STEP 1

生徒が事務局にメールを送信&担任の先生に相談しましょう

在籍校の先生の協力が必要なので、必ず先生に相談！

STEP 2

先生と行きたい学校を探しましょう

説明会に参加して、行きたい学校を見つけるとともに、先生に各留学先校のカリキュラムを確認してもらい、留学可能な学校がどこか見つけよう。

STEP 3

先生に在籍校用メールを事務局宛に送信してもらいましょう

STEP 4

行きたい学校が見つかったら現地訪問しましょう

各校のHPをご確認ください。

STEP 5

応募書類を在籍校から提出してください

ACTION! ▶ 留学を検討する まずは「留学説明会」に参加しよう！

オンライン開催 留学説明会

6/26 [水]・7/5 [金]・7/11 [木]・7/20 [土]
7/26 [金]・8/6 [火]・8/19 [月]・9/10 [火]

地域高2留学※の流れや価値を知っていただく説明会です!!

※「地域高2留学」は高2留学の全国での総称です。



地域高2留学
WEBサイトへ

ACTION! ▶ しまね高2留学学校を確認しよう 留学先校で履修できる科目や応募条件などを確認しよう！

地域高2留学 合同学校説明会

東京開催 9/1 [日] 10:30~15:30

場所:国立オリンピック記念青少年総合センター

全国の留学先校が集結し、学校・地域の魅力について先生・地域の方・生徒から直接話が聞けます！東京開催では生徒同士で話せるスペースも設置予定！



地域高2留学
WEBサイトへ

【島根県主催】しまね高2留学 合同学校説明会

オンライン開催 8/8 [木] 14:30~16:00(予定)

しまね高2留学先の高校が参加

しまね高2留学の学校が集まり、学校や地域の魅力について先生・地域の方・生徒から直接話が聞けます！留学先校で履修できる科目や応募条件などを確認しよう！



しまね留学
WEBサイトへ

しまね 2 高2留学

住んで、触れて、学ぶ。
地域高2留学 内閣府



しまね高2留学で 島根の高校に行こう!

高校1年の春

中学受験をして、やっとの思いで入った高校だったけど、勉強漬けの毎日でなんだか疲れた。将来の夢とかなく、何のために勉強してるんだろう。このままでいいのか? 何かにチャレンジしてみたいけど...



留学を検討したら
留学説明会に参加しよう

高校1年の夏 (6月~9月頃)

勉強勉強の毎日でネガティブになっていた高校1年の夏前に、しまね高2留学のチラシが学校で配られた。そのチラシを見た時に、もしかしたら違う高校生活が送れるのかなって想像してみた。



オープンスクールに
参加しよう!

オープンスクールで
出会った子との交流も◎!

高校1年の秋 (8月~10月頃)

留学説明会で気になる学校があった。その高校のサイトではたくさんの記事が出てきた。生徒が楽しそう、幸せそうなのが伝わってきて、私もこういうところに行きたいという直感を頼りに、オープンスクールに参加してみることに。



応募までのステップを
調べよう!

高校1年の冬 (11月頃)

現地訪問をして、最終的に留学志望校への応募を決めた! 在籍校の先生に報告。応募書類を準備して提出した。いよいよ面接。緊張したけど、留学できることに!



留学スタート!

高校2年の春

ホームシックにならないかな?
寮ではどんな生活になるのかな?
どんな子がいるんだろう。
でも不安よりもワクワクの方が大きい。



詳しくはWEBサイトへ
しまね留学ホームページ



しまね高2留学 高校一覽

入学校に籍を置きつつ、高校2年次の1年間を島根県の高校で学び、3年次は元の入学校で学ぶ「しまね高2留学」。

新たな仲間と共に成長が実感できる学校生活を、島根県、市町村、高校が一体となって支援します。



島根県立三刀屋高等学校

本物のキャリア教育で自分の興味関心を深める
スペシャルチャレンジ留学。



「三高ドリームプロジェクト」と題し、授業改善・家庭学習・課題研究を三つのポイントとして連携させ、学力向上と進路実現を目指しています。地域の人と共に活動する「雲南式探究」や放課後に挑戦できる「スペシャルチャレンジプログラム」など雲南市の生き生きとした人々と出会い、活動し、自分の可能性を伸ばすことができる環境が三刀屋高校には整っています。

総合学科1学年4クラス／全生徒数418人(うち県外留学生3人)

●留学先の住居:寮 ●家賃(食費含む):5万円/月 程度

連絡先／島根県雲南市三刀屋町三刀屋912-2 TEL.0854-45-2721

島根県立隠岐高等学校

みんなの「なりたい」が隠岐でみつかる



昔も今も大切な「不易」、これから必要な「流行」を取り入れ、これからの時代に活躍する「次世代型探究人」を育てる教育を行っています。2年次には、地域と共に創る「ジオパーク研究」、その成果に大学や企業から助言をもらう「関西研修旅行」があります。そして、島親と生活し、地域に溶け込んだ日常から、島の文化を肌で感じる1年となります。

普通科1学年2クラス・商業科1クラス／全生徒数197人(うち県外留学生19人)

●留学先の住居:寮および島親宅

●家賃(食費含む):6~7万円/月(隠岐の島町に住民票を移した場合、一部助成あり)

連絡先／島根県隠岐郡隠岐の島町有木尼寺原1 TEL.08512-2-1181

島根県立大東高等学校

子どもから大人までチャレンジが連鎖する雲南で地域を感じ、
マイテーマを深化させるスペシャルな365日。



「学び」との出会い、「地域」との出会い、「部活動」との出会いを柱とした、多様で豊かな出会いを通して、未来を切り拓く力を育てています。2年生の「雲南式探究」では、「地域パートナー」をチームに迎え、共に活動を考え取り組みます。この探究活動が行われる時期には地域全体が学び舎となり、個性ある出会い・学びが生まれています。

普通科1学年3クラス／全生徒数195人

●留学先の住居:下宿 ●家賃(食費含む):5万円/月 程度

連絡先／島根県雲南市大東町大東637 TEL.0854-43-2511

島根県立島根中央高等学校

変わっていく、変えていく。



島根中央高校には、「こんな自分を目指したい」という夢を実現するために、授業や部活動、個人探究に全力で取り組む生徒と教職員がいます。そして、それを全力で支えてくれる地域があります。全国約100の中学校から集まる多様な生徒と大人が、そして、学校と地域・川本町が一体となり、「自立・共生・挑戦」の力を育む島根中央高校で、「今」と「未来」を生きる仲間となって夢をかなえましょう。

普通科1学年3クラス／全生徒数250人(うち県外留学生86人)

●留学先の住居:寮 ●家賃(食費含む):4万円~5万円/月 程度

連絡先／島根県邑智郡川本町川本222 TEL.0855-72-0355

島根県立隠岐島前高等学校

地域と世界のつなぎ手となる「グローバル人材」を目指して



島まるごと学校。日本一の多様性の中で学ぶ! 主体的に、協働的に、探究的に、地域の魅力や地域課題をベースに1年間かけてチームで取り組む探究学習が学びの柱です。地域には「なにもない」と言われがちですが、「豊かな人間関係」や「伝統文化」、そして「不便さ」が残されています。「なければつければいい」。そこに創造性が育まれる余白があります。

普通科/地域共創科 1学年各1クラス／全生徒数150人(うち県外留学生91人)

●留学先の住居:寮 ●家賃(食費含む):4万円/月 程度

連絡先／島根県隠岐郡海士町福井1403 TEL.08514-2-0731

Interview

2024年度4月で在籍高校へ戻った「しまね高2留学」3期生の皆さんの声

3期生 高地麻央さん

東京都通信サポート高校

大東高等学校



地方での生活に興味があった私は、入学した通信制高校から、大東高校に留学しました。学校見学で大東が自分の理想の住みたい地方に似ていたので決めました。また、私は校則に疑問を持っていて、理解できないことを押し通されるのは無理なタイプです。でも、大東高校の先生方は「高地さんが新しい風を吹かせてほしい」と言ってくれました。ここなら自分が嫌だと思ふことを隠さず、より良い形に変えていけると感じました。2024年2月に、高校生にも政治に興味を持って欲しいと「たかまつなな」さんの講演会を企画しました。たかまつさんのプレゼンに感激し、その思いをみんなに感じてもらいたいと事務所に連絡しました。多くの生徒に参加してもらうため、部活動の顧問の先生に協力をお願いしました。あのとき走り回ったのは楽しかったし、空回りしていたけどよく頑張ったなと思います。

3期生 平城清明さん

宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校

隠岐島前高等学校



宮崎県の中高一貫の全寮制で、窮屈さを感じ、中学3年生のときに「高2留学」を知り、応募して隠岐島前高校に留学しました。隠岐島前高校を選んだ理由は、「島まるごと学校」のキャッチコピーに心ひかれたからです。また、在籍校の先生方が島前高校の良さを教えてくれたことも決め手でした。1年間で頑張ったのは「地域に出る」ことです。島前高校では自分の時間を自分で決めることができ、カキの養殖や釣りなど、地域でさまざまなことに取り組みました。また、西ノ島の「島親さん」と親しくなり、地域の人々との交流が深まりました。僕は人の考えを取り入れないところがありました。でも留学していろいろな大人と話す機会が増えたせいか、他人の意見を受け入れるようになったと思います。友達からも「最初の雰囲気とは変わったね」と言われ、自分自身でも実感しています。

大学に進学している先輩の声

2期生 加藤喜弥子さん

上智福岡中学高等学校

隠岐高等学校



武蔵野美術大学 造形構想学部クリエイティブイノベーション学科

中高一貫校からしまね高2留学に挑戦し、隠岐高校に留学しました。人との会話克服のため人と話す経験が必要だと考え、留学時は地域行事に積極的に参加し、地域の人々と関わる機会を増やしました。実際に、「島親さん」のお隣さんが自宅にBBQをされているところに急ぎ参加させていただき、お隣さんやそのママ友、お子さん達と一緒に食事を楽しむことができました。地域の強いつながりに驚きましたが、とても良い経験になりました。隠岐で多くの大人と出会い、様々な働き方を知ったことが影響し、留学後は大学に行くことだけでなく、その先の人生まで考えるようになりました。総合型選抜で、隠岐高校へ留学した経験と探究活動について話し、大学へ進路決定することができました。隠岐では初めて会った人と話す機会が多く、ここで培ったコミュニケーション能力は、大学に入った今でも生きていて感じています。

1期生 中村紗花さん

追手門学院中・高等学校

三刀屋高等学校



立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部

高校1年生の時はコロナ禍で在宅しており、テレビで「AIが人の仕事を代行する」ニュースを見ました。便利そうだけど、私は「人の仕事を奪っている」と感じて、「人にしかできないこと」を考えるようになりました。そんな時に雲南市の「日本一チャレンジに優しいまち」という言葉に惹かれて、三刀屋高校を選びました。頑張ったことは「人との出会いを大切にすること」、「スペシャルチャレンジ」r.プログラム、「部活動」の3つです。スペシャルチャレンジr.プログラムでは、多くの印象的な出会いがあり、自分の考え方も変わりました。やらなきゃいけないが増えて負担に感じる時もあったけど、事務局の皆さんや在籍校の先生、親のサポートでモチベーションを上げ、最後までやり遂げることができました。島根に行けば、1年後必ず自分を変えられます。ぜひ、しまね高2留学だからこそ出会える仲間と経験をしてください。

しまね 高2留学とは

高校2年次の1年間を
島根の高校で学ぶ
国内留学制度です。

高校へ入学



高校1年生
在籍高校

留学後の「なりたい自分」をイメージ。留学前研修を通じて1年間の留学生生活を計画しよう！

1年間留学



高校2年生
しまねの
高校

新たな環境で留学生活スタート。充実した1年間とするため、自分のテーマに向き合おう。※在籍高校からの転籍ではありません。

入学した高校へ戻り卒業



高校3年生
在籍高校

「なりたい自分」を実現するための大きな一歩。しまね高2留学の経験を活かし、主体的に自分の将来を切り拓こう。

QUESTION

よくある質問

しまね高2留学をお考えの生徒・保護者のみなさまへ

Q 留学まで、何から始めれば良いですか？

8~9月は、「合同学校説明会」「しまね高2留学オンライン説明会」に参加して、まずは「しまね高2留学」について知りましょう。興味のある学校を調べて、留学のイメージを膨らませてください！在籍校の先生にも相談しましょう。

Q 応募するための条件はありますか？

応募時に高校1年生であること、留学先校で修得した単位を在籍校が卒業に必要な単位数に加算してもらえること、留学先校が定める応募条件を満たしていることなどの条件がありますので、地域高2留学のWEBサイトでご確認ください。

Q どのようなカリキュラムで学べますか？

本物の自然や独自の伝統を有する地域の特色を活用した学びや、地域と協働して課題を解決する探究学習などが学校ごとに用意されています。(詳しくは、しまね留学や地域高2留学のWEBサイト、もしくは各学校に直接お問い合わせください)

Q 3年間で高校を卒業できますか？

留学した場合の単位がどうなるのかを含め、留学を検討していることを、早いタイミングで在籍校の先生に相談されることをおすすめします。教育課程や、卒業に必要な科目、単位数は学校ごとに異なります。3年間で卒業できることが応募前に学校間で確認されている必要があります。

Q 留学決定までの流れはどうなりますか？

在籍校の先生に留学意思を伝えて、8~9月に希望校と一緒に決めましょう。10月下旬~11月上旬に応募をし、11月に検査(書類・面談・学力テストなど)を受けてください。受け入れ決定後、12月に最終の意思を確認し手続きをしたら、4月から留学がスタートします。(留学までの流れ、申請の手続きは学校により一部異なる場合がありますので、合同学校説明会にてご確認ください)

Q 留学中の費用はどうなりますか？

生徒は在籍校に籍があるので、基本的には在籍校に授業料を納入することになります(海外留学に準じるなど、在籍校の規定によります)。留学先校では授業料は徴収しませんが、学級費や学校行事等への参加費、寮費や食費等の生活費は負担することになります。

Q 住む場所はどのように探すのですか？

留学先の高校にて、寮もしくは下宿を紹介します。(詳しくは、しまね留学や地域高2留学のWEBサイト、もしくは各学校に直接お問い合わせください)

Q 安心して学び、生活するためのサポート体制はありますか？

留学先校は、自分のチャレンジを形にできる環境です！高校と地域を結ぶ「コーディネーター」を中心に、下宿先のご家族、寮の管理人さんなどの見守りがありますが、自分で課題を解決していく力も必要です。

Q しまね高2留学と地域高2留学は同じ仕組みですか？

同じ仕組みです。地域高2留学は全国での総称、しまね高2留学は島根県内での呼び方になります。

Q 検査制度はどうなっていますか？併願は可能ですか？

地域高2留学のWEBサイトで応募・検査要項をご確認ください。第2志望まで併願が可能です。

お問い合わせ先

島根県教育庁教育指導課

〒690-8502 島根県松江市殿町1

TEL.0852-22-6165 FAX.0852-22-6026

高校情報など、詳しくはWEBへ

<http://www.shimane-ryugaku.jp/>

しまね留学 検索

